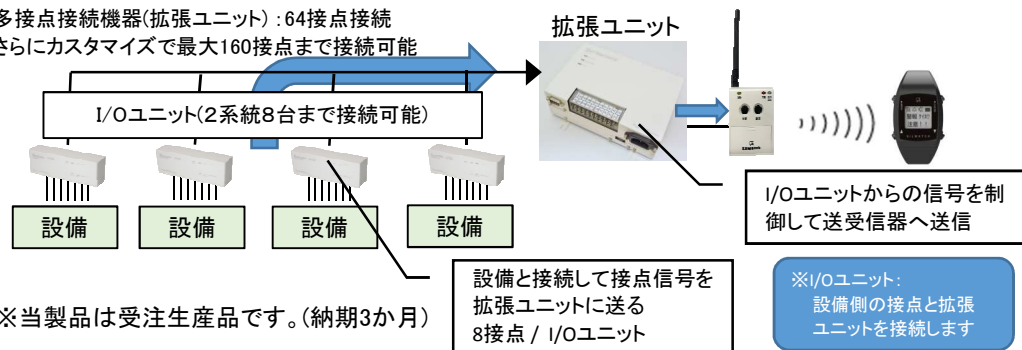


3-4. 多接点接続

多接点接続機器(拡張ユニット): 64接点接続
さらにカスタマイズで最大160接点まで接続可能



※当製品は受注生産品です。(納期3か月)

4. ご利用例

4-1. 工場の生産現場などで機械・装置の稼働状況を管理、省力化、生産性向上に貢献



4-2. 工場における離れた人やモノの呼出を支援



ヒトに対して“振動”と“メッセージ”でお知らせします。
生産工程3 “部品切れ”
→対応すると別担当者に“対応済み”をメッセージでお知らせ

4-3. その他ご利用事例

スーパーマーケットのセミセルフレジ、通常レジから釣銭切れなどを係員に迅速にお知らせ

聴覚に障害のある人のための緊急通報

店舗内の防犯センサーと連動してスタッフへ連絡、レジ関連通報など音声に寄らない通報

図書館や美術館など静寂を求められる場所で係員に連絡する

<新製品情報> 近日発売 TOKYO SHINYU

双方向シルウォッチ

振動・文字でお知らせする腕時計型無線情報機器
通信の見える化、データ化を実現

- ・振動と文字により個別、一斉、グループ別など多様な通信が可能
- ・シルウォッチ上にメッセージを全角10文字、半角20文字まで表示可能(上段と下段に全角5文字、半角10文字に分かれて表示)
- ・シルウォッチから他のシルウォッチへメッセージを送信可能



ベルトを外せばペンダントにも早変わり



送受信器はシルウォッチにメッセージを送信し、またシルウォッチからの応答を受信して他のシルウォッチへ送信します。送受信器には以下のメッセージを登録・送信可能

- ① 前面の送信ボタンに登録したメッセージ
- ② 前面の自動ボタンに登録したメッセージ
- ③ 側面のMIC/FAXに登録したメッセージ
- ④ 側面の入力1/2プラグに登録したメッセージ
- ⑤ 側面のRS232CプラグとPCやPLCを接続してメッセージ送信
- ⑥ 側面DC-INプラグ(ACアダプタ用のプラグですがPCとUSBケーブルで接続してRS232Cプロトコルでメッセージ送信)

株式会社 東京信友

■ 本社
〒160-0022
東京都新宿区新宿 1-14-5 新宿 KM ビル
TEL.03-3358-8000(代)
FAX.03-3358-6330
<http://www.shinyu.co.jp/>
e-mail:info@shinyu.co.jp

製品に関するお問い合わせは

TEL 03-3358-8000

FAX 03-3358-6330

1. 双方向シルウォッチシステムとは

各種センサーからの信号を受けて、必要な情報を振動・文字で通知します。

・仕事に集中していても情報を見逃さない。

情報着信を音や光で知らせる場合は、常に音や点灯に注意を払う必要がありますが、シルウォッチは振動という体感により信号着信を知らせる為に仕事に集中していても、情報着信を見逃しません。

・「何か」起きたではなく、「何が」起きたかを知らせる。

シルウォッチ上に情報の内容が文字で表示されます。何か起きたのではなく、何が起きたかをその内容まで通知します。

・無駄な動きを防ぐ。

通常は複数の人がシルウォッチを装着し呼びかけに対して1人が対応すればよいケースですがその様な場合初めに応答ボタンを押した人が対応者となり、その人が(A)ならば他のシルウォッチ保持者には(A)が対応と表示されるので無駄な動きを防止できます。

・発信内容の見える化・データ化が可能。

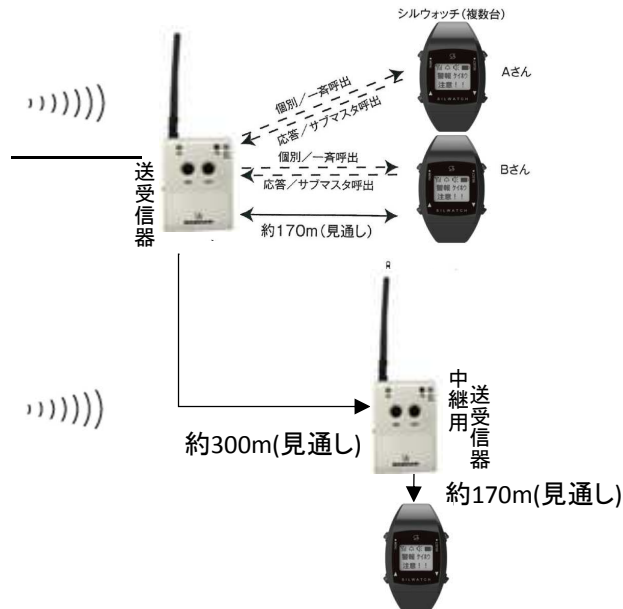
PC上で刻々の発信状況を見ることができ、またその発信状況を記録として残し後日、作業環境改善に役立てることができます。

・メッセージの着信確認が可能。

メッセージがシルウォッチに届いたかの確認が可能ですので電波の到達範囲の確認やシルウォッチの行動範囲を確認できます。

2. システム構成

様々な送信手段



3. 便利にご利用いただくため

3-1. 送信ソフト

パソコンやタブレットにソフトを取り入れて、任意のメッセージを個別・全体に手で送信できます。
※Windows7~10対応です。



送信ソフト画面

3-2. 設定ソフト

パソコンにソフトを取り入れて、グループIDや文字メッセージ等の変更が可能です。
※Windows7~10対応です。



腕時計型送受信器の設定画面

3-3. 見える化・データ化ソフト

パソコンにソフトを取り入れて、送受信のデータの時間とメッセージをパソコン上に表示し、記録します。
※Windows7~10対応です。



送受信データ表示画面